

平成19年度 近畿地区公立中学校修学旅行委員会事業 (案)

〔基本方針〕

修学旅行は最大の学校行事であり、学校教育の総仕上げとして生徒の人間形成上重要な影響を与えてきた我が国独自の伝統的教育行事である。

近畿地区公立中学校修学旅行委員会は、学習指導要領のねらいの一つである「自ら学び、自ら考える力」の育成と、修学旅行の三原則 安全性の確保・教育性の高揚・経済性の適正化 を目指して修学旅行のあり方を追求してきた。

修学旅行は現在では、触れ合い・共感・共生を重視することや子供たちの体験不足を補うために様々な工夫を加えながら実施されている。

そのことを踏まえながら本年度は『子どもの未来を拓く修学旅行の役割』をテーマとして研究することとした。(研究テーマは1月26日の三地区合同会議で決定されました。)

〔重点推進事業〕

研究活動の充実

1 第22回近畿地区中学校修学旅行研究大会 (発表当番府県 大阪府)

資料 4

(1) 第22回近畿地区中学校修学旅行研究大会を成功させるために、各府県の中学校・関係機関の協力を得て、時代に即した修学旅行のあり方を研究する。

- ・ 開催日時 平成19年11月13日(火) 午後1時 ~ 4時
- ・ 会場 大阪市中央公会堂
〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-27
06-6208-2002
- ・ 研究テーマ 『子どもの未来を拓く修学旅行の役割』
- ・ 発表校 大阪狭山市立狭山中学校
- ・ 講演 (講師選考中)

日程	・ 1:00~1:10	開会挨拶	(来賓含む)
	・ 1:10~1:50	研究発表	(大阪狭山市立狭山中学校)
	・ 1:50~2:40	研究協議	
	・ 2:40~3:00	指導講評	(大阪府教育委員会)
	・ 3:00~3:10	休憩	
	・ 3:10~3:45	講演	(講師選考中)
	・ 3:45~3:50	感謝状贈呈	
	・ 3:50~4:00	閉会挨拶	

(2) 研究大会の持ち方について

3年間研究大会の持ち方について検討してきたが、「平成19年度から3年間は1校の研究発表と講義または講演の方式を続ける。」その後は原則的には「2校発表に戻す。」こととしている。(平成18年2月17日の運営委員会で決定。)

2 修学旅行実施状況調査

資料 6

昨年度は全修協の全国調査に合わせた内容で実施した。本年度三地区調査に合わせ、近公修委独自のものをプラスして実施する。(全修協のHP「修学旅行ドットコム」で検索していただき、近畿地区公立中学校修学旅行委員会で平成13年度分からご覧いただけます。)

《実施する理由》

修学旅行は現在ではかつてのような見学が中心ではなく、子どもの体験不足を補うために、また「自ら学び、自ら考え、課題を解決する力」を育成するために、体験学習（事前・事後学習の充実を図りながら）を取り入れる学校が近畿地方では80%を超えるようになってきている。

学校のねらいや子どもの実態に即した体験学習を開拓するために、各学校は旅行先の研究や体験学習の開拓に努力を重ねている。

当委員会では従前から現地研修会を実施し、入手した情報を各府県の委員を通じて学校に提供してきた。特に昨今学校では旅費が削減され、学校独自の修学旅行の下見や調査が困難な状況になっている中、当委員会の情報は貴重なものとなってきている。

教育性の高揚・経済性の適正化・安全性の確保を目指して本年度も現地研修会を実施する。

《目標》

これからの時代にふさわしい修学旅行先の研究・開拓（経済性の適正、安全性の確保）
生徒の成長に役立つ体験学習の開拓。（教育性の高揚）

《研修先》

長野県方面

《時期》

平成19年8月10日（金）～11日（土）（1泊2日）

《目標参加人員》

各府県3名ずつ

集約輸送について（近修委）

平成20年度は、航空機利用校が減少した分列車利用に戻っている。しかし、独自実施校の増加に比べ、集約輸送利用校は思うほど伸びてはいない。

最近では修学旅行費用の未払いが中学校でも多くなっていると実施状況調査にも書かれていることから、費用軽減につながる集約輸送が増加するよう近修委に協力することが重要となっている。

航空機を利用した沖縄・北海道への修学旅行（近修委・近公修委）

平成20年度から、沖縄・北海道（近畿地区から）への航空機運賃が値上がりするとの情報等があったため、平成20年度の両方面への修学旅行は減少した。

修学旅行実施状況調査には「経費が全体的に高くなっているため、行き先を変更する（特に航空機利用の場合）。」との意見がかなり多く見られることから、今後も両方面への修学旅行は減少するものと考えられる。しかし、新たに沖縄方面への修学旅行を検討中の学校もあり、しばらくは変動がある見込みである。

航空機利用については、最寄りの空港からの出発がかなわず遠くの空港を割り当てられる、運賃が高額である、キャンセル料が高い等の課題があり、本委員会としても近修委に協力しながら解決に向け取り組まなければならない。

情報ネットの充実について（全修協）

全修協のHPに修学旅行に関する情報を多く掲載している。特に過去3年間は修学旅行に関する全国調査（一部抽出調査）の結果並びに近畿地区の調査結果（16年「二学期制」・17年「危機管理」・18年「体験学習」）も掲載されている。

今後は近畿地方の中学校にとって緊急に必要な情報を載せられるよう研究するとともに、HPのPRにも努める。（「修学旅行ドットコム」でご覧いただけます。）

平成19年度の事業等予定（一部全修協・近修委の予定を含む）

月	事業内容
4	19年度諸活動の準備
5	各府県委員名の確認
6	発表校への委嘱状発送（大阪狭山市立狭山中学校） 各府県教委へ研究大会の後援名義使用許可願い発送（運営委員に送付） （大阪府教委へは来賓出席・市導助言者派遣依頼も） 近公修委平成19年度総会（平成19年6月22日 大阪市中央公会堂） 近修委平成19年度総会（事務局全修協 平成19年6月5日 大阪弥生会館）
7	研究大会準備等 第24回全国修学旅行研究大会（全修協創立50周年記念大会） 〔平成19年7月31日（火） グランドヒル市ヶ谷 会長出席〕
8	平成19年度現地研修会〔平成19年8月10～11日（金・土） 長野県方面〕
9	第1回運営委員会（研究大会・その他）（平成19年9月初旬） 近修委委員会（集約輸送申込み等について）（平成19年8月28日） 平成19年度修学旅行実施状況調査発送
10	第2回運営委員会（研究大会について）（平成19年10月初～中旬） 平成19年度修学旅行実施状況調査回答回収 近修委集約輸送申込み締切（平成19年10月19日）
11	平成19年度近畿地区中学校修学旅行研究大会 開催日時 平成19年11月13日（火） 13:00～16:00 会場 大阪市中央公会堂 内容 ・ 研究発表 大阪狭山市立狭山中学校 ・ 講義or講演（講師 選考中） 修学旅行実施状況調査集計開始
12	修学旅行実施状況調査集計完了（予定） 近修委委員会（大阪弥生会館 11月30日 平成21年度集約輸送抽選会）
1	関東・東海・近畿3地区公立中学校修学旅行委員会連絡会代表者会 〔平成20年1月25日（金） 会長出席 東京〕（予定）
2	第3回運営委員会（反省と次年度の行事）（平成20年2月中旬）
3	平成19年度のまとめと次年度の準備

（注） 印は近畿中学校長会修学旅行専門委員会（近修委）主催の会議